

千葉市 手をつなぐ育成会だより

第 173 号
令和 6 年(2024) 7 月10日
千葉市手をつなぐ育成会
会 長 成 田 智 子
千葉市稲毛区作草部2-4-5
でい・さくさべ 2 階
TEL・FAX 043-206-4050
✉ chibacity-hands@ikusei-kai.jp

5月23日(木)、でい・さくさべ会議室にて第71回定期総会が開催されました。出席者58人、委任状提出278人で過半数を超え、総会は成立しました。

24名の来賓を代表して参議院議員(社福)春陽会理事長 白井正一様、千葉市副市長 大木正人様(神谷千葉市長からのメッセージ代読)、千葉市教育委員会学校教育部長 川名正雄様の3名から挨拶をいただきました。

【議事・基本方針】
令和5年度事業報告、決算報告及び監査報告、令和6年度事業計画及び予算案、役員一部改選案、会則改正はすべて承認されました。



千葉市副市長 大木 正人様

令和6年度総会 権利擁護に向けて活動を

高齢化・重度化に
対応するために
《社福》千葉市手をつなぐ育成会
みなもとホーム

みなもとホームは定員20名(1階・2階)男性10名、2階は女性10名、短期入所併設型1名の日中サ―ビス支援型のグループホームとして、令和5年4月に開所しました。

利用者さんの高齢化・重度化に対応するため、①高齢化に適した支援 ②充実した日中の過ごしを提供 ③医療・介護と連携した支援 ④安心して地域で暮らすための緊急時短期入所の4つのコンセプトを掲げています。

ホーム全体がバリアフリーの建物でエレベーターや手すりを設置。1階と2階で連携した対応、法人内の各事業所からヘルプの職員を派遣してもらう等、職員同士の連携にも力をいれております。平日は日中活動の事業所へ通所されている方が多いのですが、休日は千葉市動物公園やポートタワーなどにドライブへ出かけたり、季節に応じたイベントを開催しています。

みなもとホームは、明るく元気な利用者さんが多く、ホームの雰囲気がとても良いです。見学に来られた方にも「明るく楽しそうな雰囲気ですね」というお言葉をいただくことが多く、嬉しく思います。これからもホーム全体が明るく楽しい雰囲気の中、利用者さんひとりひとりが「みなもとホームで生活していてよかった」と思えるようなグループホーム運営を目指していきます。

(みなもとホーム
主任支援職員 島野 浩司)



休日の様子



おめでとうございます
阿部さんとお母様

永年勤続表彰

育成会では、一般企業に20年以上お勤めされた方を表彰しています。今年は、コンパスグループジャパン(株)幕張事業所に20年間お勤めされている、阿部竜土さんが表彰されました。毎朝6時に起床され、天気の良い日には、ランニングで通勤されているそうです。

その人らしい暮らしができること

会長 成田 智子

2022年に障害者権利条約の対日審査で総括所見が示され、各関係機関で見直し等の検討も進められています。

生きていく上では当たり前のことですが「ご本人の意思を尊重した上で、その人らしい暮らしができること」を改めて大切に思います。

知的障害があっても、一人で公共交通機関を利用し学校や施設や仕事に通う人、余暇で出かける、スポーツを楽しむなど、ご本人が当たり前前に社会参加をする場面も増えてきました。

地域社会の中で自分らしく暮らしていくためには、社会全体で障害について理解していただくことが重要になってきます。

育成会は、ご本人の思いに日々耳を傾け、啓発活動や関係機関への発信など、組織の役割を果たしていくことが求められます。

会員の皆様には引き続きご協力をいただきますようお願いいたします。

業のための実行委員会を立ち上げて進めていきます。

今年度より、前年度までの一般会計と特別会計を合わせたものを一般会計とし、特別会計では積立金を管理していきます。

会則第5章機関 理事会第11条を改正し、理事会構成の箇所を変更しました。また新たに、総務部を新設、副会長には、神山さん、御代さんが就任しました。

【議事終了後】
久保田元会長からは、キャラバン隊「ららら」について、千葉市内の公民館、生涯学習センターの職員の方々への啓発活動では、自閉症協会の菊池代表に

もご参加いただいたこと、淑徳大学の学生さんから、オファーがあること、また、「ららら」では障害児者の親ではない方が積極的に、一緒に活動をしていただいていることの報告がありました。

【法人の動き】
社会福祉法人千葉市手をつなぐ育成会の栗原理事長からは、みなもとホームのサービス提供がはじまったこと(P4参照)、能登半島地震を受けての訓練の実施、福祉避難所については、市と共に本格的に検討していくこと等のお話がありました。

(広報部 野口)



この広報紙は「赤い羽根共同募金」の助成により発行されています。

(広報部 西村)

◆令和6年能登半島地震災害義援金のご協力ありがとうございました。

28万4010円を(一社)全国手をつなぐ育成会連合会に送金致しました。

◆4月より事務局が1人体制のため休業日が不定期になります。事務所にお見えの際は事前にご連絡下さい。

◆昨年、10年ぶりにまた理事になり、今年から広報部担当です。以前より理事の人数が減り少し寂しいですが、若い方が増え、コロナが五類に移行されたこともあり、会活動がとても活発になりました。人との繋がりや出会いにワクワクしています。

(広報部 前田)

育成会のうごき 3月~6月

- 3月1・5・12日 各区おしゃべり会(P.2)
- 5日 千葉県手をつなぐ育成会権利擁護委員会
- 7・13日 市内養護学校・特別支援学校卒業式
- 14日 令和5年度障害児(者)のための摂食嚥下指導事業第3回推進委員会
- 15日 第3回千葉市障害者施策推進協議会
- 21日 千葉市障害者社会参加推進協議会
- 22日 千葉市バリアフリー基本構想推進協議会
- 25日 第5回(仮称)こども基本条例検討委員会
- 27日 令和5年度社会福祉法人千葉市社会福祉協議会第3回評議員会
- 4月5・8・9日 大宮学園・市内養護学校・特別支援学校入学式
- 17日 神谷市長意見交換会(4団体連絡会)(P.2)
- 20日 さくさべ会・まさご会総会
- 5月12・15日 第32回千葉市ゆうあいピック(P.3)
- 23日 令和6年度第71回総会(P.1)
- 28日 法人理事会
- 28・29・31日 各区おしゃべり会(P.2)
- 31日 (仮称)こども基本条例検討委員会
- 6月3日 千葉市特別支援連携協議会
- 4・5・24日 各区おしゃべり会(P.2)
- 12日 法人定時評議員会
- 13・14日 千葉市特別支援学級特別支援学校児童生徒激励会
- 24日 社会福祉法人全国心身障害児福祉財団評議員会
- 27日 社会福祉法人千葉市社会福祉協議会令和6年度定時評議員会

地域で生きる 育成会啓発活動



千葉市バリアフリー基本構想推進協議会、地区・事業者合同意見交換会がきっかけとなり、2月29日(木)、千葉都市モノレール株式会社にて、約50人の社員の皆様に、知的障害の

特性について、お話をする機会をいただきました。今までは、警察署員研修や、民生委員の方々の研修会でその機会をいただいていたことが、一事業所では初めてのことです。以前、作成した「知って下さい、知的障害のこと」の資料を権利擁護の視点からもう一度見直し、配布させていただきました。

はじめに、成田会長、佐久間光正さん、藤芳晶さん、大里から障害のある我が子との暮らしについて、お話ししました。次に、育成会活動内容と、知的障害の障害特性、コミュニケーションのとり方や、配慮していただきたいこと、最後に、自分の意思で生活を選び、様々な権利が認められるよう、法

律が変わってきたことなどをお話しました。
日頃、モノレールを利用しているご本人を見ている社員の方々には、障害の理解は広がっていると感じましたが、「コロナの影響で、一般の乗客の方でパーソナルスペースを意識される方が増えてきているが、障害のある方への理解をしていただけるようにご説明している」とお話がありました。

○令和3年に障害者差別解消法が改正され、4月より事業者による合理的配慮(障害の特性や社会的障壁の除去)の提供が義務化されました。事業者とは対話を重ね、解決策を考えていくことが大切です。

(副会長 大里)

ご存じですか?

障害者差別解消法が一部変わりました!

2024(令和6)年4月から事業者による合理的配慮の提供が義務化されます!

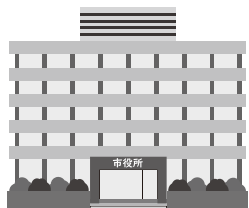
合理的配慮の事例について詳しくは、「合理的配慮サーチ」をご覧ください。(内閣府の公式Webサイト)

合理的配慮の提供とは?

障害のある人から、手助けや心くばりをしてほしいと言われた場合に、負担が過ぎない範囲で対応することです。

千葉県

市長との意見交換会



4月17日(水)、千葉市役所にて、神谷千葉市長と4団体(千葉市自閉症協会・千葉市中心身障がい者ワークホーム等連絡会・千葉市知的障害者福祉施設等連絡協議会・千葉市手をつなぐ育成会)での意見交換会がありました。当日お話しさせていただきたい項目については事前に書面にて提出しました。

当会からは、育成会の成り立ちと

活動の紹介、千葉市においても多くのグループホームが開設されており、どのグループホームにおいても本人の主体性を尊重した上での権利擁護が確保され、豊かな地域生活を送ることができるよう、手立ての確保と仕組みの構築が望まれること、また、自分らしく暮らしていくための住まいは、本人も親も高齢化している現状もあり重要な喫緊の課題認識であることを伝えております。

千葉市においては、地域の実情にに応じて、千葉市ならではの障害者福祉を柔軟にご検討いただきたいと直接お伝えしております。短時間ではありましたが、思いを直接届ける、有意義な機会となりました。

(会長 成田)

おじゃこやちやんが育成会に参加しませんか



おしゃべり会は各区ごとに開催しています。参加される方の環境や年齢層は幅広く、障害に関する情報交換や相談だけではなく、最近起きた出来事やご本人の成長についてなど気軽に参加できるおしゃべりの場となっています。申し込み不要、会員外の方・居住区以外の会場での参加も可能です。

委員会は会員であれば誰でも参加することができ、こども・あ

しん・はたらく・せいかつの4つがあります。1〜2ヶ月に1度のペースで開催され、委員会毎に活動を進めていきます。委員会の特色を活かしたイベントや研修会が開かれる事もあります。初めて参加される方は事務局へ連絡ください。また、会員外のお試し参加も可能です。

是非お気軽にご参加ください。お待ちしております。

(広報部 齊藤)

あんしん委員会活動報告 能登半島地震 支援活動の現場は

今年1月の能登半島地震災害発生後、でい・まさご式番館 染谷英樹所長は、千葉県災害時派遣福祉チーム(※千葉県D W A T)第2班として支援活動に行かれました。

4月8日(月)、稲毛保健福祉センターにて、その活動の貴重なお話を伺いました。

第2班が配属されたのは七尾市和倉小学校の一般避難所。期間は1月25日〜31日。主な活動は、避難者との関係づくりや避難所における福祉的支援・アドバイス、運営補助です。

和倉小避難所には97人が避難され、高齢者は一番多く38人でした。今回、知的障害の方にお話は伺えませんでした。2家族で1つの教室を使用。断水の中、コロナ感染が拡大し、感染者とのゾーニングなど環境整備を行いました。学校再開の為全員が体育館へ移動になり、テントを設置しましたが、生活するには厳しい状況でした。

「なんでも相談所」を体育館に設置。卓球台をお借りして血圧計を用意し、相談に行きやすくして福祉専門職が避難所の皆さんの生活応援、支援をしました。体調面やこの先の支援の心配する方を地域のケアマネージャーに

千葉県
コミュニケーション支援ボード

「ゆっくり」「やさしく」「ていねい」
に話しかけてください

①あなたのこと(情報)

名前

住所

電話番号

所属

コミュニケーション
支援ボード
(当事者用)

※DWAT(ディーワット)とは?

災害時、長期避難者の生活機能低下や要介護度の重度化などの二次被害防止のため、避難所で災害時要配慮者に対する福祉支援を行う民間の福祉専門職で構成するチーム。千葉県D W A Tは3〜5人一チーム。社会福祉士・介護支援専門員・看護師などで構成され長期的に支援を行う。

笑顔と熱気に 包まれて!!

5月15日(水)、第32回千葉市ゆうあいピック陸上・ボウリング・水泳が開催されました。(卓球は5月12日)

天候にも恵まれ、青葉の森競技場では陸上競技が行われました。今大会はコロナ禍以前のよう

に、お昼をはさみ午後までの開催となり、50m走、リレーが



第32回 千葉市ゆうあいピック

再開されました。また、表彰式、メダル授与も競技後に行われました。競技が終わり、その場で表彰ということで、メダルを首にかけてもらおうと満面の笑みを浮かべる方、誇らしそうな表情をされる方、一緒に万歳三唱をされる方などの姿が見られました。選手の方々のこのような様子を再び見られるようになったことが、本当に嬉しかったです。体を動かすと汗ばむほどの陽気でしたが、選手の方々は一生懸命競技に参加されていました。

ゆうあいピック

は、スポーツを通じて知的障害のある方の自立と社会参加を進めるために開催されています。これから

も、もっと多くの人が参加されることを願います。今大会もボランティアの皆さん、大会関係者の方々のご尽力に感謝いたします。



(副会長 御代)



ボウリング競技
(アサヒボウリングセンターにて)